

記事 1/4

掲載媒体	NHK（NHK ONE ニュース／長崎県のニュース）
見出し	現代教育のヒント？「原爆学級」を振り返る催し 長崎
掲載日時	2026 年 10 月 16 日 19:39
URL	https://news.web.nhk/NEWSWEB/NA/ND-20261016DE60656

▼ 掲載ページ



現代教育のヒント？「原爆学級」を振り返る催し 長崎

2026年10月16日 19:39

シェアする

原爆で多くの児童が犠牲になった長崎市の城山小学校で、戦後、被爆した児童それぞれの事情にあわせて教育が行われたとされる「原爆学級」を振り返る催しが開かれ、卒業生たちが当時の体験を語りました。

（次ページへつづく）

この催しは障害などで支援が必要な子どもの教育について研究する学会が開いたもので、会場の城山小学校には全国の教育関係者や児童などおよそ170人が集まりました。

「原爆学級」は戦後、城山小学校に6年間設置された被爆児童を集めた特別なクラスで、一人ひとりの健康状態や生活状況などさまざまな困難に配慮しながら教育を行っていたとみられています。

16日は、70年ほど前に原爆学級を卒業した2人が当時を振り返り、このうち池田靖子さん(84)は「原爆学級と聞いたときは驚きましたが、いじめなどもなく、先生たちもみんなを気にかけてくれていました」と話していました。

学会では、詳細が分かっていない「原爆学級」の実態を明らかにすることで、ニーズが多様化する現代の教育を考えるヒントにつなげていきたいとしています。

日本特別ニーズ教育学会の高橋智理事は「原爆学級は世界に発信できるような価値があると思う。客観的事実が乏しいので研究を進めたい」と話していました。

※ 上部の帯は各サイトのページ上部表示。広告・関連記事・ランキング等の欄は省略しています。

記事 2/4

掲載媒体	KTN テレビ長崎（ニュース）
見出し	「原爆学級」の卒業生が講演 平和を未来へつなぐ集い開催
掲載日時	2026 年 10 月 16 日 18:28
URL	https://www.ktn.co.jp/news/detail.php?id=20261016009

▼ 掲載ページ

ch KTN

テレビ長崎

ホーム

ニュース

番組情報

アナウンサー

8gram

イベント・試写会

モッテレ

番組表

検索

KTN

平和 城山小学校で「原爆学級」学ぶ集い
卒業生が当時を語る

高橋 智理事

日本特別ニーズ教育学会

学力の総合的に子供たちの発達の状態を
捉えようという姿は驚くほどだった

「原爆学級」の卒業生が講演 平和を未来へつなぐ集い開催

2026年10月16日 18:28

原爆で1400人を超える児童や教職員が犠牲になった長崎市の城山小学校では、戦後「原爆学級」が編成されました。

16日、学校で「原爆学級」について学ぶ集いが開かれ、卒業生が当時のことを語りました。

16日、城山小学校を訪れたのは原爆学級を卒業した藏敷 一紘さんと池田 靖子さんです。

原爆学級は原爆投下の7年後の1952年から6年間、被爆した子供たちの健康状態を継続的に観察するために普通学級とは別に設置されました。

2人は同級生で小学4年生から卒業するまでの3年間を原爆学級で過ごし、16日の集いで当時の思い出を児童に語りました。

（次ページへつづく）

前日プログラム「長崎市立城山小『原爆学級』の記憶と平和への願いを世界と未来につなぐ集い」（2026 年 10 月 16 日・長崎市立城山小学校）
（前ページからのつづき）

原爆学級 卒業生 藏敷 一紘さん

「手をやけどしてケロイドになってる人もいた。全然普通の人と一つも変わらない、みんなで仲良く。当時はそれが普通だと生活していた」

この集いは発達や障害などの特別支援教育の分野で学術研究を行う「日本特別ニーズ学会」が開いたもので、この一年は「原爆学級」について研究を行ってきました。

日本特別ニーズ教育学会 高橋 智 理事（※高ははしごだか）

「科学的な捉え方、調査方法、心や体、学力の総合的に子供たちの発達の状態を捉えようという姿は。驚くほどのことだった」

16日は全国の大学の研究員や小中学校の教職員も参加し、それぞれが考える「原爆学級を最後の学級にするためにできること」を発表しました。

学会は今後、さらに客観的事実を明らかにして世界に発信したい考えです。

記事 3/4

掲載媒体	Yahoo!ニュース（KTN テレビ長崎 配信）
見出し	「原爆学級」の卒業生が講演 平和を未来へつなぐ集い開催
掲載日時	2026 年 10 月 16 日 19:53 配信
URL	https://news.yahoo.co.jp/articles/cac45abc296f46b58b16d44ed34649e630a1781e

▼ 掲載ページ

YAHOO! ニュース
JAPAN

「原爆学級」の卒業生が講演 平和を未来へつなぐ集い開催

10/16(金) 19:53 配信

テレビ長崎

「原爆学級」の卒業生が講演 平和を未来へつなぐ集い開催

0:00 / 1:43

テレビ長崎

原爆で1400人を超える児童や教職員が犠牲になった長崎市の城山小学校では、戦後「原爆学級」が編成されました。

【記事を読む】 駅周辺の落とし物事情 警察署の倉庫はほぼ満杯 1年間で約22万点と増加！ ダンベルやカメも？

16日、学校で「原爆学級」について学ぶ集いが開かれ、卒業生が当時のことを語りました。

(次ページへつづく)

（前ページからのつづき）

16日、城山小学校を訪れたのは原爆学級を卒業した藏敷 一紘さんと池田 靖子さんです。

原爆学級は原爆投下の7年後の1952年から6年間、被爆した子供たちの健康状態を継続的に観察するために普通学級とは別に設置されました。

2人は同級生で小学4年生から卒業するまでの3年間を原爆学級で過ごし、16日の集いで当時の思い出を児童に語りました。

原爆学級 卒業生 藏敷 一紘さん

「手をやけどしてケロイドになってる人もいた。全然普通の人と一つも変わらない、みんなで仲良く。当時はそれが普通だと生活していた」

この集いは発達や障害などの特別支援教育の分野で学術研究を行う「日本特別ニーズ学会」が開いたもので、この一年は「原爆学級」について研究を行ってきました。

日本特別ニーズ教育学会 高橋 智 理事（※高ははしごだか）

「科学的な捉え方、調査方法、心や体、学力の総合的に子供たちの発達の状態を捉えようという姿は。驚くほどのことだった」

16日は全国の大学の研究員や小中学校の教職員も参加し、それぞれが考える「原爆学級を最後の学級にするためにできること」を発表しました。

学会は今後、さらに客観的事実を明らかにして世界に発信したい考えです。

テレビ長崎

記事 4/4

掲載媒体	長崎大学新聞（長崎大学新聞社）
見出し	長大生に「原爆学級のことは忘れてもらってよか」でも... 卒業生が城山小児童に証言
掲載日時	2026 年 10 月 18 日
URL	https://nagasakiunipress.com/article5.html

▼ 掲載ページ

長崎大学新聞
Since 2025

InstagramYouTube

記事を検索...

ホームニュースお知らせ新聞社について

ニュース

長大生に「原爆学級のことは忘れてもらってよか」でも... 卒業生が城山小児童に証言

2026-10-18

執筆者：宮田結衣・與那有伸

X

LINE

メール

左から池田さん、藏敷さん。児童らに経験を語った＝10月16日

(次ページへつづく)

（前ページからのつづき）

「原爆学級」の記憶を次世代に伝える催しが16日、日本特別ニーズ教育学会の主催により長崎市立城山小学校で開かれた。原爆学級の卒業生2名と城山小学校の6年生95名が参加し、県外出身の学生にも被害者や当時の状況を知ってほしいと思いを語った。原爆学級の卒業生の語りの後、参加学生は「長崎の原爆学級を最後にする」をテーマにグループで意見交換した。

原爆学級は、長崎市の爆心地から約500メートルの城山小学校（当時・城山国民学校）を中心に1952年4月から6年間、特別クラスとして設置された。被爆した子どもたちの健康な心身の発達を見守ることを目的としていた。日本特別ニーズ教育学会によると、城山小の「原爆学級」は世界で初めての取り組みだった。

原爆学級卒業生の池田靖子さん（84）は、出身地が全国各地に広がる長崎大学の学生に「8月9日が、長崎に原爆を落とされた日であるということだけでも知ってほしい。ただテレビを見るだけでもいい」と語った。同卒業生の藏敷一紘さん（83）も、「元気に過ごしているので、原爆学級のことは、忘れてもらってよか」「被害者や当時の状況を知ってほしい」と述べ、原爆学級の記憶以上に原爆の記憶継承への強い思いを強調していた。

日本特別ニーズ教育学会の高橋智理事（東海学院客員教授、東京学芸大学名誉教授）は、今回のシンポジウムの意義について、「全ての学問は、子どもの命が保障されることを前提にしている。その意味で、どの学問を学ぶ学生にも関わりのある問題だと長崎大学学生に伝えたい」と語った。

[← 記事一覧へ戻る](#)